

第5回堺市 PFI 事業検討委員会（堺市立学校給食センター整備運営事業）
議事要旨

1 開催日時及び場所

令和4年7月29日（金）9:30～12:00

堺市役所高層館 20 階 第1特別会議室

2 出席者

（堺市 PFI 事業検討委員会）

北詰委員長、石田委員、勢戸委員、橋元委員、吉原委員

（事務局）

学校給食課、政策企画部民間活力導入担当

3 配付資料

- ・資料1 落札者決定基準
- ・資料2 個別採点表
- ・資料3 各入札参加者の提案審査書類
- ・資料4 今後のスケジュール

4 審議案件

- (1)（仮称）堺市立第1学校給食センター整備運営事業に係る提案審査書類の審査
- (2)（仮称）堺市立第2学校給食センター整備運営事業に係る提案審査書類の審査
- (3) 今後のスケジュールについて

5 審議内容

- (1)（仮称）堺市立第1学校給食センター整備運営事業に係る提案審査書類の審査

- ・委員間で各入札参加者の提案審査書類の内容について討議し、各入札参加者の加点項目ごとに委員各自が4段階で仮評価した。主な意見は次のとおり。
 - 事業方針に関して、76グループは堺市の特徴を踏まえた提案が多いが、抽象的な内容も多いと思われる。
 - 実施体制に関して、どちらも提案内容は良い。54グループは特別な体制が組まれており、独自性がある。一方、76グループは、他市の実績が多く、高く評価できる。
 - リスク管理に関して、76グループはリスクマネジメントサイクルについて書かれており高く評価できる。
 - 環境配慮に関して、両者ともに独自性のある提案がされていた。
 - 54グループでは経営状況の健全性に懸念があった。どの企業が長期的に事業に携わってくるかで第二基盤が変化してくると考える。
 - 構成企業の営業利益でマイナスになっている原因は何か確認したい。
 - PFI事業の経営状況に対する一般的な評価はどのようになっているか。

⇒協力企業は SPC に出資する企業ではないため、財務の健全度合いを評価に含めるかは検討する必要がある。〔事務局回答〕

- 地域活性化の項目で数値が表記されているが、担保はどのようになっているのか。
⇒担保に関しては、提案書に記載の内容は履行義務が定められているため、堺市が事業期間中に行うモニタリングで履行できているのか監視を行う。〔事務局回答〕
- 内部計画に関して、54 グループは出入り口付近で調理員とその他利用者を完全分離できている。両者とも、食材の動線については、ワンウェイができるような内部計画となっている。
- 開業準備について、第 1 学校給食センターでは、おそらく 200~300 名程度の従事者が必要になると考えられる。まったく初めての従事者に対して、研修等を行う必要がある。その点について、54 グループは余裕のある計画となっている。
- 施設管理について、54 グループは予防保全を基本とした点検体制など具体的に表記されており、高く評価できる。なお、54 グループの提案にあるシステムが適切に機能するかは確認したい。
- 設備管理、清掃に関しては両者で大きな違いはなかった。
- 作業動線図については、54 グループは二次汚染防止対策と動線に関しては特に問題はないが、76 グループは動線が一部途切れている等で交差しているかの確認ができなかった。作業工程表については、両者とも軽微な誤りはあったが、特に大きな問題はない。
- 衛生管理の水準を維持・改善するための仕組みであるが、衛生管理の計画、運用マニュアルを作成し、従事者に周知し、そのマニュアルに沿って実施状況を記録するものである。計画やマニュアルの効果の検証を定期的に行い、必要に応じて見直していくことが重要。よって、当該施設ごとにそのような仕組みを構築することが重要であるが、54 グループはその計画の記録や検証方法が具体的である。
- 人材育成に関して、衛生に関する実行意識等については、54 グループが具体的に提案されていた。
- 食育に関してもどちらも個性ある提案がされていた。

(2) (仮称) 堺市立第 2 学校給食センター整備運営事業に係る提案審査書類の審査

- ・委員間で各入札参加者の提案審査書類の内容について討議し、各入札参加者の加点項目ごとに委員各自が 4 段階で仮評価した。主な意見は次のとおり。
 - 事業方針に関して、32 グループは地域に対する基本計画の提案が具体的であった。また、役割分担やリスク分担を明確に提案されているため評価できる。
 - 45 グループは、特化した提案や具体的な提案が無かったこと、リスク管理に対しても抽象的な提案が多かったため評価し難い。
 - 69 グループは、多数の提案がされていたが、具体性に欠けている。
 - 83 グループは、提案の中身の具体性等も形になっている。
 - すべての事業者で食材の動線については、ワンウェイができるような内部計画となっている。
 - 調理設備計画について、32 グループと 83 グループは適温調理について具体的な提案が

ある。

- 衛生管理について、作業動線図については、69 グループは二次汚染防止対策と動線に関しては特に問題はないが、32 グループと 83 グループは動線が一部途切れている等で交差しているかの確認ができなかった。45 グループは動線が何の食材を示しているのか分かりにくかった。作業工程表については、4 者とも軽微な誤りはあったが、特に大きな問題はない。
- 開業準備について、69 グループは開業準備中の課題・解決策に関して記載がなかった。
- 45 グループの施設管理に関するツールを利用する具体的なメリットを確認したい。
- ICT や映像の配信に対し、児童がどれほど興味を示しているのか、具体的な数値を示していただければ評価しやすい。
- システムの実効性の有無について、定量的に示すことを質問で求めているかどうか。回答が無い場合、確認を実施していないという認識ができる。新しい提案の場合、類似した業務での実績を質問し、それに答えてもらうことで新提案と同等の効果が期待できるとみなすことはどうか。

(3) 今後のスケジュールについて

- ・事務局から、今後のスケジュールを示した。

6 審議結果

- ・委員間で意見交換を行い、次回以降の入札参加者の審査の際の質問内容などについて情報共有した。

以 上